

## 【農林水産物・食品の広報】

### 天皇誕生日祝賀レセプションにおける和食の提供(モンゴル)

開催日: 令和7年2月5日(水)

場 所: ウランバートル市 シャングリラホテル・ウランバートル

主催: 在モンゴル日本国大使館

協力企業・自治体: Abico、Mobicom、Monnis Group、Toyota Sales Mongolia、  
松浦市、都城市

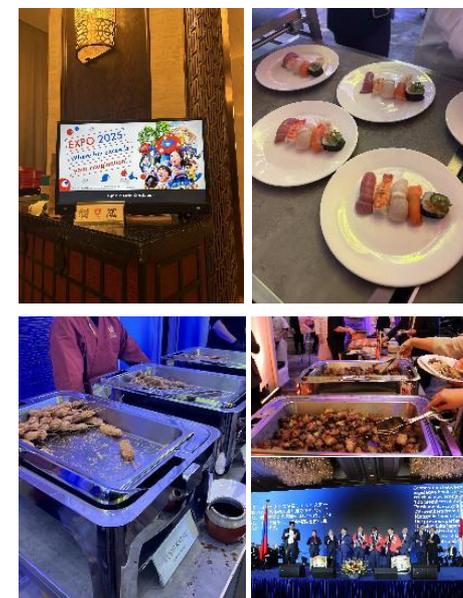
在モンゴル大使館

#### 【概要】

2月5日、在モンゴル大使館が主催した天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、和食を提供した。また、会場の大型スクリーンで大阪・関西万博及び日本食材の画像や動画を投影するとともに、場外のブースにおいて、詳細な情報を提供した。モンゴル政府関係者、ビジネス関係者、知日家、オピニオンリーダー、インフルエンサー及び外交団といった、来場者からは「次は訪日して、日本で和食を食べたい。」、「大阪・関西万博の期間中に訪日したい。」といった声が聞かれた。和食の提供を通じて大阪・関西万博及び日本産食材をPRし、日本産海産物の安全性に対する理解を深めてもらうことができた。

- 握り寿司(約500皿)を提供し、日本産海産物の魅力をPRした。このうち、ホタテは日本産を使用し、日本産食品の安全性をPRした。モンゴルでは、日本産ホタテの輸入販売が開始されており、日本産ホタテを使用した料理に関心が高まっている。
- お好み焼き(200食)及び串カツ(3種各400本)を提供した。粉もの文化や大阪・関西の話題のきっかけとなり、2か月後に開幕を迎える万博への機運醸成につながった。
- 松浦市(長崎県)からアジフライ、及び都城市(宮崎県)の和牛サイコロステーキといった、地元の自慢の食材が提供された。来場者から「どうしたらモンゴルでも手に入るのか。」、「次は、現地に行って食べてみたい。」という声が聞かれた。また、場外のブースでは両市の情報提供が行われた。
- カゴメの食品及びS&Bカレーの輸入販売を行うAbico社の協力により、カゴメジュースの提供並びにカレー及びホワイトシチューの提供があった。場外のブースでは、カゴメが開発した野菜摂取レベルが判定できる「ベジチェック」の体験が行われた。特に冬期の気候が厳しいモンゴルでは、野菜ジュースが国民に愛飲されている。

このように、地方自治体及び企業からの協力を頂きながら、日本食材や日本食の魅力を発信することで、訪日や日本食材輸入に対する理解や意欲増進のための良い機会となった。



(現地報道ぶり)

- モンツァメ通信  
<https://montsame.mn/mn/read/361346>
- News Wire  
<https://newswire.mn/n/41733>
- Voice of Mongolia  
<http://www.vom.mn/mn/p/53302>